

持続可能循環型 ボランティアへ

年内最後は仏具清掃と 図書館資料の運び出し

NPO法人ウッディチキンは11月18日と25日、能登震災支援の一環として現地入り。持続可能循環型以下循環型ボランティアの打ち合わせと年内最後の活動を行ってきました。循環型支援とは、能登の特産品を全国の美容室で販売可能にし、現地に赴かなくても持続的に支援できるようにするものです。今後、生産者の仕事を増やし、シニア層の助成がなくなっても収入が得られる仕組みの構築です。



循環型ボランティアの打ち合わせ



図書館から
搬出される
トラック3
台分の書籍

想いを込めて磨かれる仏具

打ち合わせは珠洲市の本町ステーションというコミュニティスペースで行われました。参加者は現地の窓口の方を含め、サンビさんという農業法人の代表の方々と、6名が参加。私たちの活動目的は前回訪問時にご理解いただいたもので、より具体的な話になりました。現在すでに、美容業界向けのソフトウェア会社の協力で、在庫を持たずにキャッシュレスで販売可能なシステムができつつあります。来年以降は私たちのネットワークから広く全国の美容室へと販路を広げ、いつでもどこでも支援可能な活動が実現できたらと考えています。以上のようことを踏まえ、

2班に分かれて

今回まずは珠洲産のお米を販売していただくことになりました。まだ試験段階です。ので今回はこれまで協力いただいたサロン様に限った販売ですが、今後このような形で循環型ボランティアを実現していく予定です。

25日は2班に分かれ、珠洲のお寺の仏具清掃と輪島の図書館の引っ越しのお手伝いを行いました。元々は前回に引き続き草刈りを予定していたのですが、現地の声に応える形で活動です。今回も千葉、名古屋、大阪から計8名の方が参加。地元の方々と合流し、力仕事や得意な方は引っ越し作業、女性スタッフは仏具清掃と割り振られ、9時からお昼

休憩をはさみ夕刻まで作業させていただきました。図書館は月末に解体が始まる輪島市の市民会館の中に併設されており、急遽書籍の運び出しが必要になったという事です。搬出した本は廃校となつていて小学校の教室と体育館に搬入し、新たに再開されるまで保管されるとのことでした。仏具清掃は珠洲市の真浄寺というお世話になっていたお寺での活動でした。参加されたスタッフさん達の感想を以下に掲載いたします。

仏壇の清掃を担当しました。大切な場所を任される責任を感じながら、思い出すつもりで丁寧に作業しました。住職さんや地域の方からかけられた「ありがとう」の言葉が印象的で、自分の行動が誰かの支えに became した。

今回の経験を通して、復興にはまだ時間が必要だと実感すると同時に、自分のような小さな力でも、できることは必ずあると学びました。これからも、自分にできる形で支援を続けたいと思いました！ありがとうございました！

今回お寺の仏具の清掃させていただきました。被災前のお話や被害に遭われた状況などもお聞きできました。

綺麗になった仏具が並んでいるのを見て、お寺の方もこんなピカピカなのはいいね、気分変わるねと言って頂いたので、参加できて良かったです！！

まだまだ動けることがたくさんあるので、このご縁を大切にこれからも行動を広げて行きたいです！

今回もありがとうございました！

感想文にもあるように復興にはまだまだ支援が必要です。年内の活動は今回で終了ですが来春から再開していきます。予定がわかりしだいお知らせ致しますので是非また皆様のご協力をお願い致します。